

栄 さかえ小 ニュースレター

6年生「いのちの授業」



10月8日（火）、龍ヶ崎済生会病院産婦人科にお勤めの陳央仁先生をお招きし、6年生を対象に「生命の誕生とその大切さ～君は愛されるために生まれた～」をテーマにした「いのちの授業」が行われました。

授業では、まず生命の誕生に関する話から始まりました。生命の誕生は「総理大臣になること」や「10億円の宝くじに当たること」より難しいという話や、赤ちゃんがどのように母親のお腹の中で成長し、生まれてくるのかを写真や動画を見せながら分かりやすく説明してくれました。子供たちは、普段なかなか考える機会のない生命の神秘に触れ、自分自身がどれほどの奇跡によってこの世に生まれてきたのかを感じ取っていました。

また、授業の中で陳先生が強調されていたのは、「すべての命は尊い存在である」ということでした。赤ちゃんが生まれるためには、両親をはじめとする多くの人々の愛情と支えが必要であり、誰もがその愛情に包まれて育てられてきたことを語ってくれました。

授業前に子供たちに取ったアンケート結果では、「自分が好き」と答えた児童は男子86%、女子68%、「生まれてきて良かった」と答えた児童は男子90%、女子86%でした。思春期になると、自分の外見が気になったり、ちょっとしたことで気持ちがイライラして親に反抗したりしてしまいがちですが、今回、陳先生の話聞き、生命の尊さを知ったことで、自分を大切にしようとする子供たちや、親への感謝の気持ちをもつことができた子供たちが増えていけば嬉しいです。

今回は、保護者の方が15人ほど参加していただきましたが、何度聞いても素晴らしい話なので、ぜひ、機会があれば聞いてみてほしいと思います。



最後に、陳先生が授業の中で子供たちに聞かせていた、韓国人のイ・ミンソプ牧師という方が作詞・作曲された「君は愛されるため生まれた」という曲の歌詞を紹介しておきます。

君は愛されるために生まれた 君の生涯は愛で満ちている
君は愛されるために生まれた 君の生涯は愛で満ちている
永遠の神の愛は われらの出会いの中で実を結ぶ
君の存在が 私にはどれほど大きな喜びでしょう
君は愛されるため生まれた 今もその愛を受けている
君は愛されるため生まれた 今もその愛を受けている



授業の1コマ



5年生の図工では、糸のこを使って切ったパーツに色を塗り、それをボンドでつなげて立体的なオブジェを作っていました。どの方向から見てもわかるのがいいですね。でも組み立てにはかなり想像力が必要そうです。



4年生は図工で、風景画に取り組んでいました。昔、写生会があった頃は、近くの神社や公園に行って描くことがありましたが、最近は見かけなくなりました。作品を描きながら秋の気配も感じてくれたらと思います。